

八田中学校の実践研究

○学校の基礎情報

学 校 名 : 南アルプス市立八田中学校

住 所 : 山梨県南アルプス市榎原620

エリアの特徴: 果樹農園が広がる農村地帯。平成の大合併以前は八田村立の中学校として小規模ながらも地域密着型の学校教育を大切にしてきた。部活動にも力を入れてきた伝統があり、平成19年には全国中学校駅伝大会で優勝した実績がある。交通の便の良さから、近年は旧村外から流入してくる世帯が増えている。一方で、少子化に伴う生徒数減少も進行し、チームスポーツにおいて、他校との合同チームを作らざるを得ない部が出はじめている。(野球、バレーボール)

教 員 数 : 21人

生 徒 数 : 170人 (1年57人、2年50人、3年63人)

部 活 動 数 : 8 (運動部6…陸上、野球、サッカー、男子ソフトテニス、女子ソフトテニス、バレーボール)
(文化部2…吹奏楽、創作)

○指導者の情報

種 目 : 陸上競技
指導者名 : 鈴木 正一 (65歳)
競 技 歴 : 0年
指 導 歴 : 40年
資 格 : 元中学教員。(保健体育)

種 目 : 女子ソフトテニス
指導者名 : 浅野 茂 (48歳)
競 技 歴 : 0年
指 導 歴 : 20年
資 格 : 教員免許 (保健体育)、元中学教員。

種 目 : 野球
指導者名 : 田鹿 欣孝 (42歳)
競 技 歴 : 5年
指 導 歴 : 16年
資 格 : 教員免許 (保健体育)、現在本校教員。

陸上競技部

○概要

種 目：陸上競技
参加人数：3年生 10人，2年生 12人，1年生 1人【計23人】
指導者名：鈴木 正一
学校顧問名：野田 侑実，芦澤 幸敏，植村 友哉
部活動の頻度：平日週4回（月曜休養日） 土日どちらか1日
部費の負担：なし

【活動目標】

- ・陸上競技を通じた人間力の向上
- ・競技スポーツ，生涯スポーツのどちらとしても陸上競技を行える環境づくり

○活動内容

- 1 主な活動時間
土曜日（または日曜日） 8時30分練習開始 11時30分練習終了
- 2 活動場所
八田中学校グラウンド
- 3 年間指導回数
45回
- 4 指導の工夫
 - ・日々の練習や大会の記録をつけさせることで，生徒自身の練習や成果・課題の様子を見えるようにする。
 - ・定期的にミーティングを行い，チームとしての課題点を生徒たち自身に考えさせ，自分たちで修正させる。
- 5 学校との連携
 - ・生徒が練習の様子や大会の記録をファイルにまとめることで，生徒の活動の様子を指導者と教員の間で共有することができる。
 - ・顧問と指導者との打ち合わせをこまめにするすることで，練習メニューなどの確認をしっかりとする。

6 成果

- ・生徒や保護者から、「専門的な練習ができてよかった」「普段生活している学校の先生だけではなく、外部の指導者がいることで緊張感のある練習を行うことができてよかった。」「環境も大きく変わらず、練習ができた」などの前向きな意見があった。
- ・教員だけでは子どもたちへの専門的な指導の部分で不安があったが、指導者のサポートにより、ある程度の質を保証した練習や指導を行うことができた。
- ・生徒が顧問だけではなく、指導者に対しても安心して練習内容や技術について質問や相談に行くことができる環境・関係をつくることができた。

7 課題

- ・専門的な指導の部分においては、本事業は良い方向に効果を発揮できた。しかし、「時間的な部分」に対する課題の解消への効果があったかということに関しては不安な部分が残った。
- ・保護者が「地域部活動」というシステムで八田中がこの1年間活動をしていること自体を知らなかった（気づいていなかった）。
- ・保護者から、「受益者負担」という部分について不安に思う声が出た。
- ・生徒指導的な部分に関して、指導者と上手く共有できない部分があった。

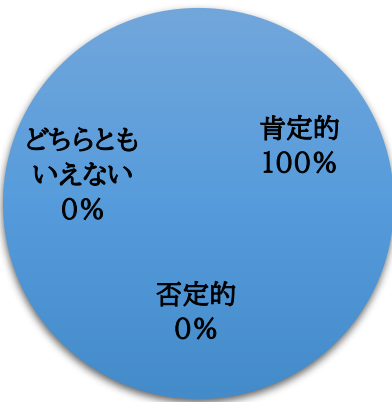
8 今後の方向性

- ・部活動を地域部活動へ移行することで、これから発生してくるであろう「お金（保険料・参加料）」の扱いについて、保護者の理解を慎重に得る必要がある。
- ・土日の部活動が地域部活動へ移行していくことで、教員の「指導面への負担」「時間的な負担」が少しでも解消される方向に効果を発揮していくと良い。
- ・地域指導者として、「どのような人が適した人材であるのか」、「指導資格や審判資格などの資格の必要性」も慎重に考えていく必要がある。



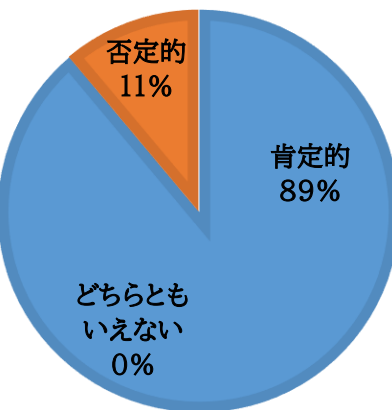
【生徒】(n=8)

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



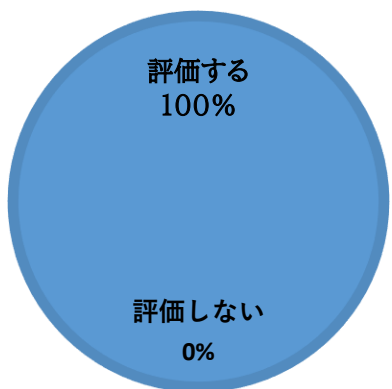
- 練習メニューが専門的でめちゃくちゃきついところが良かった。
- 技術や練習方法など専門の人に教えてもらえて良かった。
- 平日は先生がいるけれど、休日に指導をしっかりとしてもらえて効果的な練習をできて良い。
- 記録が良くなった。
- 自分を大きく成長させてくれた

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- 様々な学校の生徒と教えあえるから良いと思う。
- 他校の生徒と練習ができて、いつもとは違う他校のメニューができて勉強になりそう。
- もっと体力がつき、自分が強くなりそう。
- 知れなかったことを知れるから。
- コミュニケーションがとりづらい

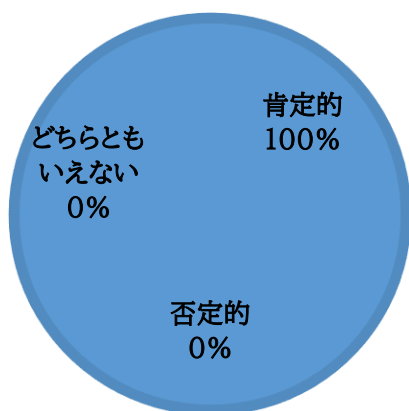
3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 今までの練習よりも、もったきつい練習ができたから。
- 今回専門の人に教わって、より細かいポイントや、練習方法などを教えてもらい、自分の結果にもつながったから。
- いつもとは違うメニューや練習だったり、いい組合せの練習などをできて良い練習だった。
- 去年よりも速くなれたし、知らなかったことを知れたから。
- 自分の心と体を成長させてくれるから。

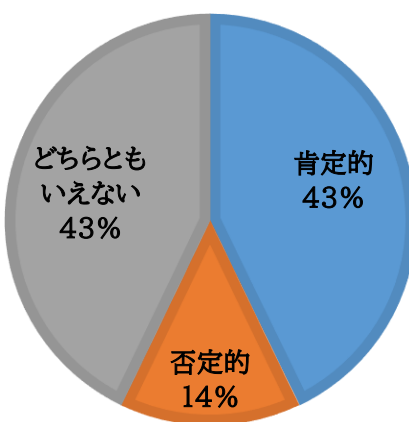
【保護者】(n=8)

1. お子様の様子はどうでしたか



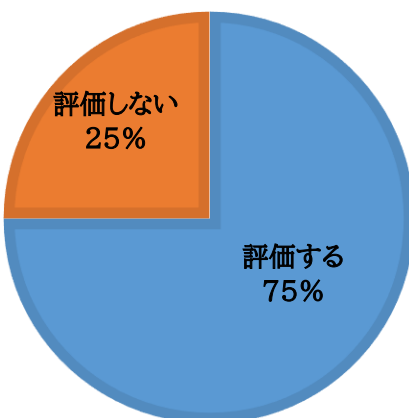
- 熱心に教えてもらい、学校の先生とは違う専門的な知識を教えてもらえて良かった。
- 外部の指導者に教わる事で刺激になったと思います。
- 普段関わりのない指導者で、自分に対しての甘えが減ったように感じました。
- 本人たちの力になっているなら特に問題はありません。
- お互いに緊張感を持って練習に取り組めていたと思います。

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- 学校の中だけでなく関わりがあるのは視野が広がり、刺激があって良いと思う。
- 経験のある方からアドバイスを頂けると本人のやる気もいい方向に向いてくれると思います。
- 活動場所が自宅から遠いときに送迎ができないときの対応が困る。
- ◇参加料や保険料など経費の受益者負担になるなら部活動の強制参加はどうかと思う。
- ◇部活動は教育活動の一環であると考えており、特別なお金を出して活動しなければならないものではないと思います。全ての子どもが平等に活動できるものにして欲しい。
- ◇地域活動うんぬんというより、部活動の在り方自体を考える時かと思っています。

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 専門的な指導を受けられ、子どもの為になったから。
- 今までになかった練習や経験ができるから。
- 先生の負担も少しは減り、外部の指導者という事で別の意見を教えてもらうのは有意義だと思います。
- 地域部活動をされていたのは知りませんし、どの部分を言っているのかわかりません。

アンケート結果

【部活動顧問】

1. 生徒の様子は怎么样了か

- ・専門的技術や知識の指導を行って頂くことで、生徒の取り組み方も向上したと感じる。
- ・今年度から採用のため様子の変かは分からないが、生徒からは昨年度よりも練習がきつくなったという声を聞く。練習に対して4月よりも意識高く取り組んでいる生徒も数名いる。
- ・専門的な指導者による専門的な指導と外部の指導者ということで緊張感があって良い。

2. 指導者との関わりは怎么样了か

- ・地域の方の、また教員の仕事もよく理解されている方だったため連絡など密にとり、予定を考えることができた。陸上以外のことも学ばせて頂き素晴らしい指導者との出会いだっただと感じる。
- ・こまめに連絡し、打ち合わせを行うことができています。
- ・連絡調整等もスムーズにできていた。

3. 休日部活動の成果と課題について

- ・鈴木コーチに関しては、私も得るものが多く、一緒に指導をして生徒とともに結果だけではなく充実した部活動が実施できた。専門的な指導者がいない部活動については、「地域部活動」は貴重な場となると思う。
- ・専門的な指導で大会での生徒の記録・結果につながったと思う。
- ・保護者への周知と金銭的な面は課題
- ・生徒指導上のことも踏まえた部活動での指導が課題

4. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・評価するが、平日の部活動をどのように取り組むのか教員が考えなければならない部分はあると思う。一生懸命取り組む生徒が、戸惑わないように配慮できれば良いと考える。
- ・自分では、メニューの作り方や練習内容など指導できなかったのも専門的な事を教えていただけるとは心強いから
- ・まだ試運転の状況ではあるが、専門的な指導が可能になるという点では評価できる。

【地域指導者】

1. 今回の休日の地域部活動の成果と課題について

- 【成果】
- ・地域の学校で学ぶ生徒の現状の姿を知ることができ、地域の大人として青少年を見守る必要性を強く感じとれた。気軽に会話やあいさつができることから始めて
 - ・陸上部に所属している生徒のやる気を引き出し、大会で好成績を収めることが出来た。
 - ・部活動顧問にも技術指導のみならず生徒の心身育成のための指導の在り方を共有出来たと感じる。

2. 運営面や学校との連携について

- ・スポーツ活動には、障害は常につきまとう事である。本園度は活動中に事故負傷などは起きていないが、技術向上をねらったり質を高めるための量を増やすなどの場合負荷と共に危険性がある。もしもの場合1人指導では対応が不十分になる可能性があると感じる。顧問教師の働き方改革の取組ではあるが、本来的には複数での指導が望ましい。
- ・保護者等は幸いにも私の教え子が多く教え子の子どもという関係性で指導を任せて信頼してくれている点は良い。スポーツには結果が関わる。向上し、好成績が出れば次のステップにつながる。限られた指導の延長として必要に応じて次のステップでの指導の保証がほしい。具体的に言えば、関東大会等上のステップでの指導の為に地教委の援助を感じなかった。

3. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・部活動の必要性を感じている先生にとって兼務できることは良い。

女子ソフトテニス部

○概要

種 目：女子ソフトテニス
参加人数：3年 7人 2年 7人 1年 5人 【計19人】
指導者名：浅野 茂
学校顧問名：佐野 周治 窪田 菜美
部活動の頻度：平日4日（月曜日はオフ）、土曜日3時間
部費の負担：なし

【活動目標】

- ・自分のプレイに自信を持って試合に臨める生徒の育成
- ・生涯にわたってプレイを続けたい環境づくり

○活動内容

- 1 主な活動時間
土曜日 8時15分集合 8時30分練習開始 11時30分終了
- 2 活動場所
八田中学校 ソフトテニスコート
- 3 年間指導回数
38回
- 4 指導の工夫
 - ・練習ノートを活用し、学校部活動と成果・課題等を共有しながら指導をおこなう。
 - ・平日部活動の成果と課題を確認して、全体で共有しながら練習に活かす。
 - ・練習試合や他校との合同練習の機会を増やし、その後ミーティング等において、個やチームが振り返りを行えるようにする。
- 5 学校との連携
 - ・週休日（土曜日）の部活動を利用し、顧問の先生と練習等の情報交換を行う機会をもつ。
 - ・練習ノートを活用し、部活動と成果・課題等の共有を行い、練習メニューを考え、実践できる時間を設定し、生徒同士や生徒とのコミュニケーションの機会を増やす。

6 成果

- ・顧問の先生と連携することで、生徒は専門的な指導を継続して取り組めることができた。
- ・学校部活動を延長して行えたので、生徒は意欲的に活動に取り組んでいた。

7 課題

- ・指導時間が限られているので、休日部活動の時間がオーバーすることがたびたびあった。
- ・顧問の先生との打ち合わせや休日に顧問の先生に来ていただくこともあったので、先生の負担が出てしまった。
- ・生徒の技能の習得に差があるため、練習の工夫が必要だった。

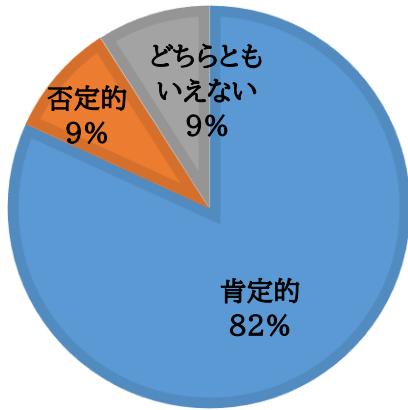
8 今後の方向性

- ・まだ大会の整理が進んでいないため、現在の形を継続して取り組めるのが良いと思う。
- ・経費については、国では受益者負担の考えを示している。学校施設での練習ができなくなると、会場の確保等が課題になる。
- ・生徒が、他校の生徒との交流を通して、色々な種目を経験できる体制づくりを進めていきたい。



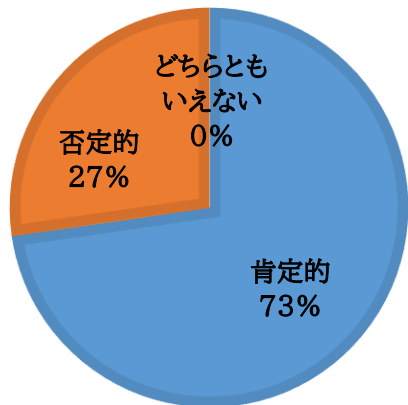
【生徒】(n=12)

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



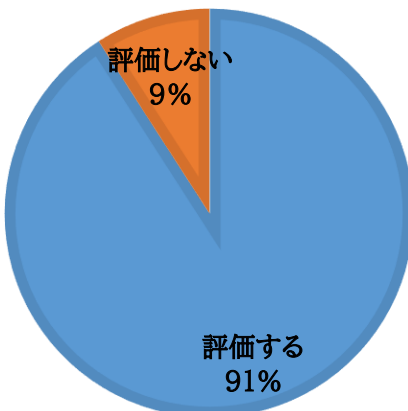
- 専門の指導者に来てもらって、先生の気付けない所を気付いてもらえるからいいと思います。
- 普段いない人に教えてもらうことでコーチ感が増えてちゃんとやろうという気持ちになる。
- 平日になかなか練習ができないときに、休日に指導者に指導してもらえて部活動が楽しいと思えた。
- 自分の欠点など指導してもらい試合に生かされた。
- 自分を大きく成長させてくれた
- 日曜日の活動だと来られない人がいるから考えて欲しい。
- ◇コーチが来ない時や来れなくなったときに困った。

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- 部活への意識が高まり、上達するという事に期待できる。
- 他校の生徒とテニスができ、良い刺激を受けられる。
- 新しい出会いがあって楽しそう。
- 指導者の日程や生徒の日程が合わず参加できない人が増えそう。
- 緊張して練習に集中できない。
- まとめる人が難しくなる。

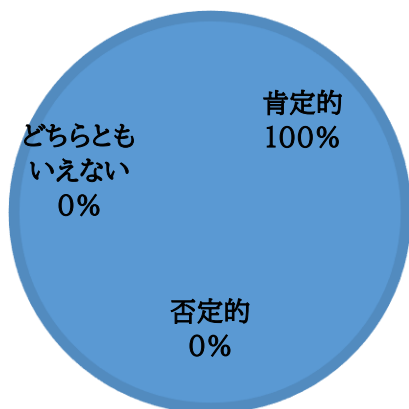
3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 練習時間も増えて技術も向上したから。
- 専門の人に教えてもらうことでわかりやすいアドバイスや、意味のある練習ができるから。
- 細かいところまで教えてくださって、分かりやすい。
- 一人一人しっかり見てみんな平等に教えてくれるからいいなと思う。
- 練習がハードになって良かった。
- 楽しかった。
- 来ていない人がいるから。

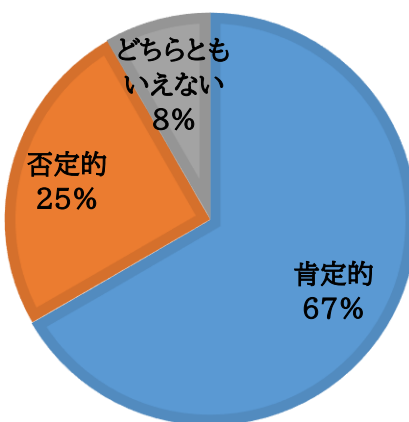
【保護者】(n=12)

1. お子様の様子はどうでしたか



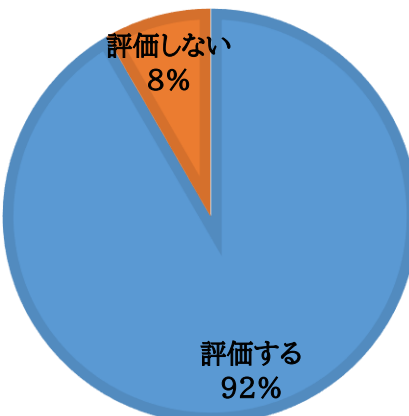
- 休日に学校の先生以外の専門的な指導者からの指導を受けることにより、やる気や意欲が増したようでした。
- 多少の緊張感もあり、この取組はとても良いことだと感じました。
- 新鮮で良かったと言っていました。
- 楽しそうだった。

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- 色々な方との交流も出来るのでコミュニケーションも取れるので社会勉強にもなると思うので期待しています。
- 経費負担は妥当だと思う。指導者と話をする機会がないので入学式などであいさつできる機会があると安心してお願い出来る。
- 色々な人と関わりが増えることで刺激を受け成長できていいと思います。
- 経費負担は致し方ないが、不参加の生徒が増えることや参加できない人が増え不安です。
- 顧問がいない状況は不安です。
- ◇負担額が小さいなら有り難いしやむをえないとも思うが、本来学校活動の範囲で部活動を見てしまうと費用発生するのであれば練習内容や回数などボランティアと違って来るのでしっかりとやってもらいたい。また、指導上の言動で問題発生や責任の所在などが心配。

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 先生だけでは大変でもあるし、地域と連携して指導経験者を活用するのは良いと思う。
- 教師の負担軽減に賛成。
- 専門的な指導をして頂き、熱心に助言をしてくださり、テニスの楽しさを教えて頂きました。
- 年々、子どもの数も少なくなり、部活としての活動が出来なくなる部も増えてくると思うのでいいと思う。
- 休日の部活動が何をしていたのかが分からない。

【部活動顧問】

1. 生徒の様子はどうでしたか

- ・意識に差が見られた。意欲のある生徒と負担に感じている生徒。土曜日に部活動をし、日曜日に地域部活動を行うことがあったため。地域部活動は自主参加としたが参加者は少なかった。
- ・部活動では基本全員参加だが、地域指導になると人数が集まらない。
- ・やる気のある子にとっては有意義な時間になっている。

2. 指導者との関わりはどうでしたか

- ・互いにコミュニケーションをとりながら、日程や練習メニュー等の連絡・調整を行った。練習メニューが充実した。
- ・現在はよく知っている方が指導にあたってくれているので特に支障はないが本格的に地域の方となったときには不安や連絡先を交わすことに抵抗がある

3. 休日部活動の成果と課題について

【成果】

- ・生徒の技術力や勝ちたい意識が全体的に高まった。
- ・専門の方の指導を受けられるのは教師にとっても、やる気のある子にとっても非常にありがたい。

【課題】

- ・基本的に土曜日に部活動を行い、顧問も地域指導者も参加し、日曜日はOFFにした。複数の目で指導にあたれて良かったが、働き方改革にはつながっていない。
- ・完全移行されるまでは子どもたちの部活動≒地域指導という認識にすることに課題があり、まだまだ自由参加の域を出ない。

4. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・地域指導者を確保し、休日の部活動が地域移行できれば、教師の働き方改革にもなるし、子どもたちの技術力や意識の向上につながると思います。
- ・完全に移行されれば評価に値する。助かります。しかし、段階的な今は、コーチに都合を合わせたか、学校や私用で休めないの逆で負担が大きい。
- ・完全に切り離されるか選択制になれば教員の負担も減ると思う。専門の方の技術や知識を借りられる事は大変ありがたい。

【地域指導者】

1. 今回の休日の地域部活動の成果と課題について

【成果】

- ・あいさつができるようになったり、コミュニケーションが少しずつですがとれるようになってきているのではと感じています。もちろんテニスが上達することも大切ですがそれ以上にスポーツが好きになってもらえるといいと思います。

【課題】

- ・関わる時間・日程が少なすぎるように感じます。

2. 運営面や学校との連携について

- ・指導者が一人というのはやはり安全面で不安はあります。
- ・運営的にも日程調整が難しいと感じます。

3. 今回体験した休日の地域部活動について

- ・今後必要であると言うことは感じています。

軟式野球部

○概要

種 目：軟式野球
参加人数：3年生 3人 2年生 4人 1年生 0人【計7人】
指導者名：田鹿 欣孝（兼職兼業）
学校顧問名：田鹿 欣孝
部活動の頻度：平日週4回（月曜休養日） 土日どちらか1日
部費の負担：なし

【活動目標】

『 野球を通して野球力・人間力の向上 』

○活動内容

- 1 主な活動時間
土曜日 8時集合 8時30分練習開始 11時30分終了
- 2 活動場所
八田球場
- 3 年間指導回数
30回
- 4 指導の工夫
 - ・平日練習の状況を判断して、土曜日の練習計画を随時組み立てた。
 - ・タブレットや資料を活用し、座学の時間を意図的に設けた。
 - ・少人数なので合同練習を頻繁におこない、様々な場面を想定した判断力練習を繰り返しおこなった。
- 5 学校との連携
 - ・兼業兼務型なので、学校との連携に問題はなかった。
 - ・合同練習を行う際、他校の生徒へ指導することへの理解や承諾をしっかりと確認した。
- 6 成果
 - ・兼業兼務型で指導できていたので、学校部活動の延長上で様々な活動がおこなえた。
 - ・指導者も生徒も保護者も普段と変わらないので、野球の指導のみならず、学校や家庭に関わる様々な面で、お互いに共通理解をしながら活動できた。

- ・働き方改革を意識した勤務ができるようになり、時間外勤務時間を以前よりも減らすことができた。
- ・生徒から、「普段通りの練習ができてよかった」「指導者が変わらないので練習がしやすかった」という声があった。
- ・保護者から、「いつも通り意欲的に楽しく活動できてよかった」「指導者が変わらないので親として安心してお任せできた」という声があった。

7 課題

- ・指導体制が変わらないので、指導において勝利至上主義に陥ってしまったり、指導のマンネリ化してしまったりすることがあった。
- ・合同チームの延長上でおこなっていたので、この活動に対する他校の生徒や保護者の理解度は低かった。

8 今後の方向性

- ・兼業兼務型の指導は、指導者・生徒・保護者にとってとても有意義なものになっているので、選択肢の一つとして残すことは重要だと感じた。
- ・朝日新聞（下の添付資料）に掲載していただいたように、報酬面を含めたお金に関わるところ（保険料・参加料・活動経費など）について、明確な方向性があるとわかりやすい。
- ・朝日新聞の記事から、多くの人に様々な観点から質問や意見をいただいたが、部活動の必要性を大いに感じている方や、部活動を頑張りたいと思ってこれから教員を目指す若者にとって、この記事は明るい未来のあるものだと思う。
- ・兼業兼務型を行うにあたり、時間外勤務の削減や調整をするためには、学校内職員の意思統一と連携が不可欠である。また、校務分掌の細分化や教職員の増員も重要な方策になると感じた。

1日(水) 県庁 県庁 県庁

くむ 学ぶ 進む 教える

部活指導 ただ働きにしない

顧問教諭、休日は「指導者」県から別報酬

教員の代々の職域を定めるための、部活動での指導を学校の人材に求める「地域部活動」。国は今年度、各都道府県に部活動を推進して試行を始める。2023年度から動きを本格化する方針。運用の進め方は自治体や学校に任せられており、現場では模索が続いている。

地域部活動

意向は今年度と変わらな... 10月1日、山梨県... アルプス立八田の敷... トレーニング場... 野球場の練習では、顧問... 休日に学校外のコ... 地域部活動の田原教諭... 子が指導するが、顧問... (4)が平日と同じように教... 導すれば休日も部活動を見

外部委託 家庭の負担増も

一万、指導者別に... 地域部活動の取り組み... 増してしまう可能性があ... いる。... 今年度から、地元の「はし... まなごみスポーツクラブ」... にこの部の休日の指導を委... ねている。生徒一人あたり... の年間負担は、... 学校で指導してしまっ... いた。... プ指導... たため、... 周辺の学校の指導者... えている。... 市の総合運動場スポーツ... ラブ」は、中学生向けの... クラブでは、中学生向け... のため、... 今年度、10月、空手道... 指導者も増えた。... 県教育委員会... 指導者の「別報酬」... 多額でなくなった。... いた。

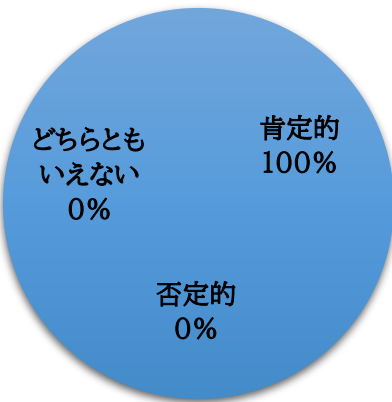
顧問教諭、休日は「指導者」県から別報酬

多額で支払われる。... 報酬は「顧問教諭」... には、色んな... 田原教諭は、自分... へく、休日にも... 休日など、... 休日は「指導者」として県から別報酬を受け取っている。... 報酬は、... 県から別報酬を受け取っている。... 報酬は、... 県から別報酬を受け取っている。...



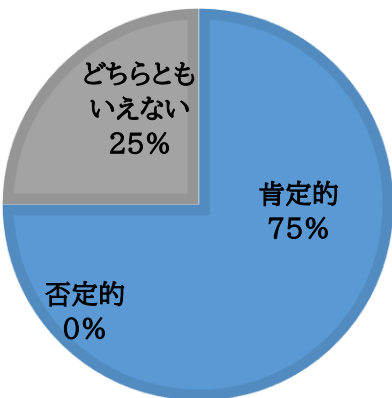
【生徒】(n=4)

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



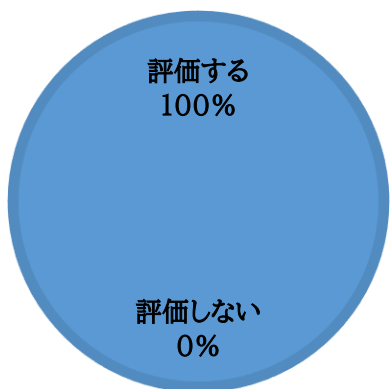
- 普段通りでよかった。
- いつもと同じように練習ができた。
- 部活と同じ指導者だったので良かった。
- 課題と感じていることは特にない。

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- いろいろな人と交流ができるからいいと思う。
- いろいろな人と技術が学べる。
- 地域の人と仲が良くなり、コミュニケーションができる。
- ◇いろいろな人と交流ができるのは良いが、自分たちの練習とは違ってコミュニケーションを取るのが難しいと感じる。

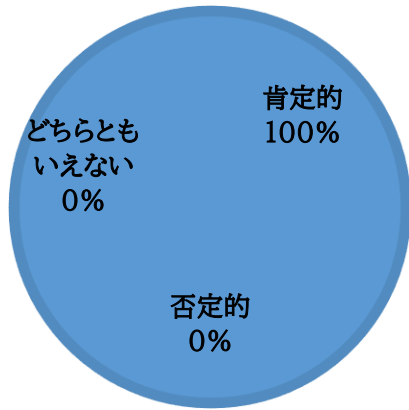
3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 普段と変わらず練習がしやすかった。
- いつもと変わらず楽しく練習ができたので良かった。
- 連有で知識や技術を学ぶことができてよかったから。
- 同じ指導者だと先生も大変だし、地域の人もいれば多く教えてもらうことができると思うからです。

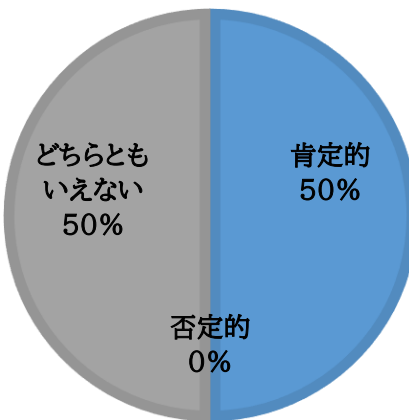
【保護者】(n=4)

1. お子様の様子はどうでしたか



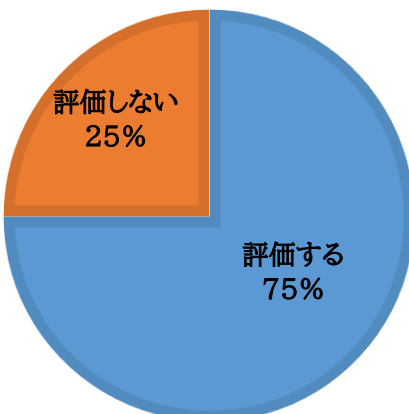
- スポーツ少年団の時のように、ポジション別だったりとかスライディングやその他技術の得意・不得意もあると思うので色々なアドバイスを聞けることは良いことだと思います。
- 意欲的に行っていた。
- 練習は楽しそうに出掛けていたので親としても安心してお任せできた。

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- 視野が広がり、他からの刺激を受けて、意欲向上となれば良いと思う。
- 先生方が忙しいときに地域指導者に協力していただければ良い成績につながっていくのではと思います。
- ◇負担が多くなったりしないか不安です。専門の指導を受けられることは歓迎ですが。
- ◇学校の保険では保障がないのでしょうか。地域部活動とクラブチームの違いはどこにあるのでしょうか。

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 普段の活動とあまり変わりがなく行われたように感じたので。
- 色々な方に指導をして頂くと1つのことだけではなくたくさんのが学べると思うので良いと思います。
- 指導者が同じであったため実際の所が良くわからない。

アンケート結果

【部活動顧問】

1. 生徒の様子はどうでしたか

・特に変わりはない。

2. 指導者との関わりはどうでしたか

・兼務なので特になし

3. 休日部活動の成果と課題について

・兼務は普段と変わらない指導ができる

4. 今回体験した休日の地域部活動について

・部活動に魅力を感じている教師希望の若者や部活動を必要としている先生にとって「兼務型」は良いと感じる。

【地域指導者】

1. 今回の休日の地域部活動の成果と課題について

【成果】

・兼業させていただいているので普段と変わらない指導が継続して行えるので 一貫性がとれる。

【課題】

・変わり映えのない指導になってしまっている。

2. 運営面や学校との連携について

・兼務なので特に大きな問題はなかった。

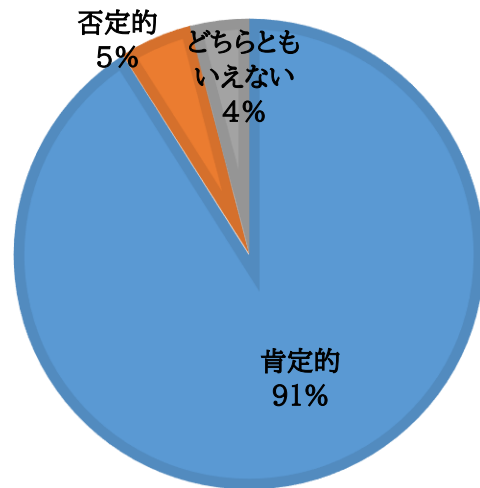
3. 今回体験した休日の地域部活動について

・部活動の必要性を感じている先生にとって兼務できることは良い。

まとめ アンケート結果を踏まえた課題・対応策 (○肯定的 ●否定的 ◇どちらともいえない)

【生徒】(n=69) ※生徒の意見の中から主なものを抜粋

1. 平日の学校部活動とは違う指導者に指導してもらいどうでしたか



- 専門的な知識を持った指導者から指導して頂けることで、効果的な練習や説明が分かりやすく、技術の向上にもつながった。
- 兼職兼業した先生が指導することで、自分たちの良いところも悪いところも分かっているので練習も分かりやすく、平日と変わらず練習ができた。
- 休日のみの指導となってしまったので、聞きたいことや指導者とのコミュニケーションがとれなかった。
- 平日の練習に比べて、練習の参加率が低くなった。
- ◇指導して頂く時間が限られているので、不安に感じた。
- ◇細かい点まで指導して頂けるのはありがたいが、違う指導者の方に話しかけづらい点がある。

【課題】

- ・競技人口が少ない種目については、指導者の確保が難しいと考えられる。
- ・休日のみの指導では、人間関係の確立等が難しいと考えられる。

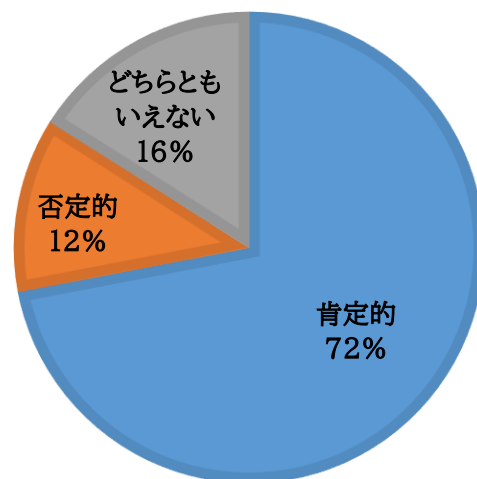
【対応策】

- ・地域のスポーツ団体やスポーツ協会等の指導者に加え、退職した教員や小学校教員等が指導者の担い手となれるよう進めていく必要があるのではないか。

まとめ アンケート結果を踏まえた課題・対応策 (○肯定的 ●否定的 ◇どちらともいえない)

【生徒】(n=69) ※生徒の意見の中から主なものを抜粋

2. 今後、部活動が学校から地域の活動となった場合について



- 他校の生徒と交流することで、お互いに教え合ったり、交流することができる。
- 部活への意識が高まり、技術が上達することに期待ができる。
- 地域の指導者や地域で活動している人達から指導してもらえればより良い技術の向上が望めると思う。
- 学校部活動として安心して行うことができていた活動が地域移行となると、知らない人が多く来ることが不安に感じる。
- 部活動として行っていた大会や部活動の伝統等、部活動の本来の目的をなくすのは違うと思う。
- 他校の生徒と一緒に練習をする事で、コミュニケーションがとりづらくまとめる人が難しくなりそう。
- ◇学校部活動としての練習が減るため、試合ができるかが不安。
- ◇他校の生徒と練習することで、練習について行けるかが不安。

【課題】

- ・活動中のケガやトラブル等に対応する保険は、どのようなものがふさわしいか。
- ・競技力向上のため、活動時間や休養日の設定など「やまなし運動部活動ガイドライン」を遵守しない活動になることが考えられる。

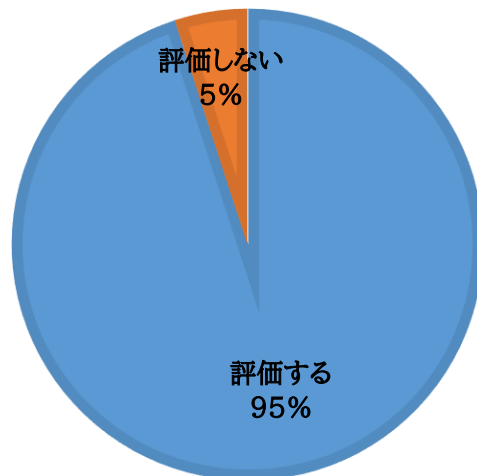
【対応策】

- ・指導者の研修や、行政、中学校、スポーツ団体等が話し合える場を設定する必要があるのではないか。
- ・「やまなし運動部活動ガイドライン」の遵守を強く要請する必要があるのではないか。

まとめ アンケート結果を踏まえた課題・対応策 (○肯定的 ●否定的 ◇どちらともいえない)

【生徒】(n=69) ※生徒の意見の中から主なものを抜粋

3. 今回体験した休日の地域部活動 について



- 専門的な指導で、細かいポイントや練習方法など教えてもらえて良かった。
- 自分の技出向上や心と体の成長につながった。
- 質の高い練習ができた。
- いつも学校で指導している方だったので、不安なく活動できたから。
- 休日だけでなく、もっと指導してもらいたかった。
- 休日の活動に参加していない人がいるから。
- どちらともいえないため評価できない。

【課題】

・運動嫌いな生徒でも地域スポーツ活動に参加できるよう、競技志向でない生徒の意向を十分尊重した活動となる工夫が考えられる。

【対応策】

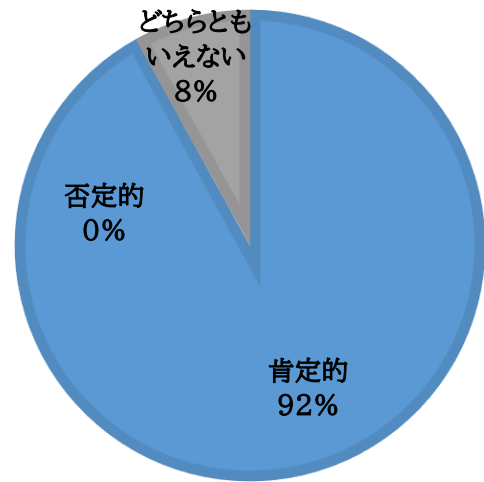
・誰もが参加しやすい地域スポーツ活動にするため、生徒等のニーズを把握する必要があるのではないか。

本調査結果から、本事業に関わった多くの生徒は、休日の部活動が地域に移行されることについて、肯定的に捉えていることがわかった。その感想等の多くは指導者に関する事項であり、専門的な指導を受けられることが評価されている。一方、他校の生徒との交流などについて不安感をもつ生徒がおり、学校教育の一環としての部活動の意義を重視する声もあった。

まとめ アンケート結果を踏まえた課題・対応策 (○肯定的 ●否定的 ◇どちらともいえない)

【保護者】(n=70) ※保護者の意見の中から主なものを抜粋

1. お子様の様子はどうでしたか



- 学校の教員以外の専門的な知識を持った方に指導して頂くことはありがたいと思う。
- 技術的な指導を受け子どもの技術が上がったり、試合で結果が出たりした。
- 新鮮で楽しそうに活動していたので親としても安心して任せられた。
- ◇指導者をつけて指導を行う場合、学校の先生の考え方、目標、指導方針など同じ考えを持って頂く事を希望する。
- ◇人見知りのある子なので、休日のみの指導者の方とのコミュニケーションがとれていたのか心配がある。
- ◇指導時間が減ったことで技術面の心配がある。

【課題】

- ・指導者としての資質と専門性を持ち合わせた人材を多く確保することが考えられる。

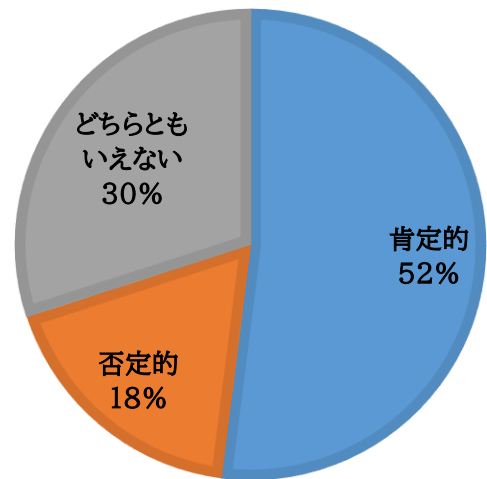
【対応策】

- ・スポーツ指導者の発掘・登録など人材バンクを整備する必要があるのではないか。
- ・地域のスポーツ団体やスポーツ協会等の指導者に加え、退職した教員や小学校教員等が指導者の担い手となれるよう進めていく必要があるのではないか。

まとめ アンケート結果を踏まえた課題・対応策 (○肯定的 ●否定的 ◇どちらともいえない)

【保護者】(n=70) ※保護者の意見の中から主なものを抜粋

2. 今後の活動について、期待や不安はありますか



- 先生方の負担軽減を考えると民間委託の導入や部活動を地域移行していくことも必要ではないかと思います。
- 子どものやりたいことに対する参加料などの負担はしかたがないことだと思う。
- いろんな方と交流できることは良いことだと思う。
- 受益者負担となるのはどうかと思う。負担がどの程度になるのか、活動の時間、場所等トータルで活動を選ばなければならない。
- 地域活動となると、保護者の負担が大きくなり、一部の保護者に迷惑がかかってしまう。
- 学校の教員や顧問のいない中での活動は不安。
- ◇学校部活動は、技術の指導だけでなく教育の一環でもあり、保護者としても安心が出来る面がある。地域に移行されても教育的要素はなるべく残して頂きたい。
- ◇学校の部活動を行うことで仲間意識が高まったりすると思うので今のままで良いと思う。
- ◇外部の指導者に指導を受けることはたくさんのメリットもありますが子どもたちに教えるという技術を持ち合わせていない方が指導出来るのか不安もある。(体罰や暴言など)
- ◇休日の活動でケガや事故があった場合はどうなるのか不安。

【課題】

- ・平日指導と休日指導の関連性や、保険料・参加料等の経費負担に関する事など地域スポーツ活動全般について、十分な説明を行うことが考えられる。
- ・競技力向上のため、活動時間や休養日の設定など「やまなし運動部活動ガイドライン」を遵守しない活動になることが考えられる。

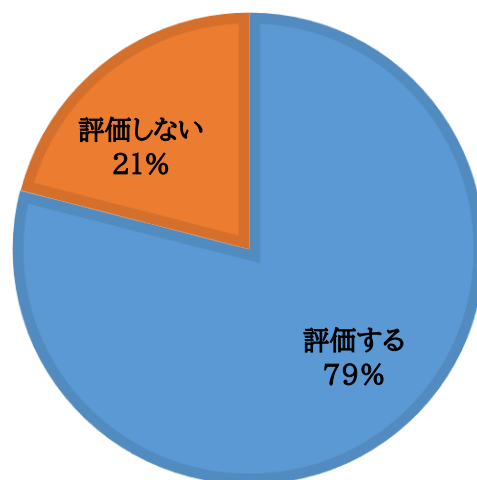
【対応策】

- ・市町村教育委員会等と連携を図りながら、保護者説明会等を開催し、丁寧な説明を行う必要があるのではないか。
- ・「やまなし運動部活動ガイドライン」の遵守を強く要請する必要があるのではないか。

まとめ アンケート結果を踏まえた課題・対応策 (○肯定的 ●否定的 ◇どちらともいえない)

【保護者】(n=70) ※保護者の意見の中から主なものを抜粋

3. 今回体験した休日の地域部活動について



- 先生方の負担軽減のためには必要だと思う。
- 専門的な知識を持った指導者に教えてもらえることは生徒にとって良いと思う。
- 専門性の強い種目においては、外部指導者の活動は良いのではないかと思う。
- これからも地域活動を通じて人々とのつながりを持ち、社会との関わりを続けて欲しい。
- 部活動は学校活動と考えます。
- 各家庭の支援が前提であり、支援が出来る家庭と出来ない家庭による様々な格差が発生することが心配。

【課題】

- ・平日指導と休日指導の関連性や、保険料・参加料等の経費負担に関する事など地域スポーツ活動全般について、十分な説明を行うことが考えられる。
- ・競技力向上のため、活動時間や休養日の設定など「やまなし運動部活動ガイドライン」を遵守しない活動になることが考えられる。

【対応策】

- ・市町村教育委員会等と連携を図りながら、保護者説明会等を開催し、丁寧な説明を行う必要があるのではないか。
- ・「やまなし運動部活動ガイドライン」の遵守を強く要請する必要があるのではないか。

本調査結果から、本事業に関わった生徒の保護者の大半は、休日の部活動が地域に移行されることについて、肯定的に捉えていることがわかった。その感想等の多くは指導者に関する事項であり、専門的な指導を受けられることなどが評価されている。一方、地域スポーツ活動に係る経済的不安などを懸念する家庭もあり、本実践研究の大きな課題であると認識することとなった。

【参考】

「令和5年からの休日部活動の地域移行に伴う実態調査」の調査結果

山梨県小中学校体育連盟 調査統計部

1 はじめに

文部科学省が平成28年度に実施した教員勤務実態調査においては、教師の厳しい勤務の実態が改めて明らかとなった。これを受けて、平成31年1月25日、中央教育審議会において「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について取りまとめられた。令和2年9月には、更なる部活動改革の推進を目指し、部活動ガイドラインで示した「学校と地域が協働・融合」した部活動の具体的な実現方策とスケジュールが明示された。部活動における教師の負担軽減に加え、部活動の指導等に意欲を有する地域人材の協力を得て、生徒にとって望ましい部活動の実現を図るものである。

このため、令和5年より休日部活動の地域移行の段階的实施に向け、技術的な指導ができる地域の人材活用と部活動指導を今まで通り続けていきたい意向のある教員との連携を図り、部活動の円滑な運営を目指していくことが不可欠となる。

そこで、山梨県小中学校体育連盟では、各学校における部活動の実態調査と教員の休日部活動における部活動指導に関する実態調査を行う中で、休日部活動の地域移行の段階的实施に向けての資料としていきたいと考えている。

2 調査目的及び内容

山梨県小中学校体育連盟では、令和5年からの休日部活動の地域移行に対して、教員のニーズや課題、意向を明らかにし、今後の段階的实施に向けての一資料を得ることを目的とした。

調査内容は、部活動の指導を実際に行っている顧問を対象として「兼職兼業の許可申請を出して休日部活動の指導にあたるか」や「休日部活動の地域移行に際して期待できることや課題だと思ふこと」などである。本年度は、この移行に当たっての初年度の調査ということで、現場の教員の声を聞く中で実現可能な方向性を探る一端として調査を行った。

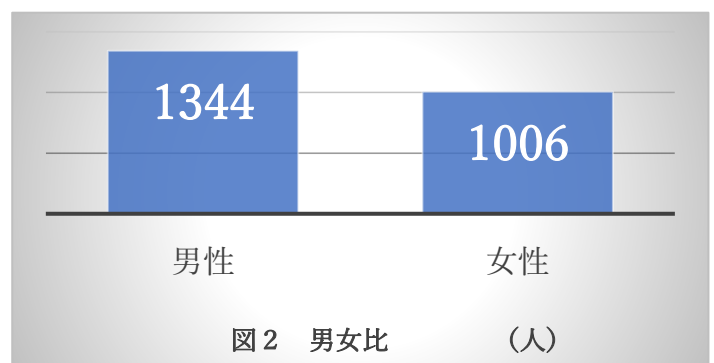
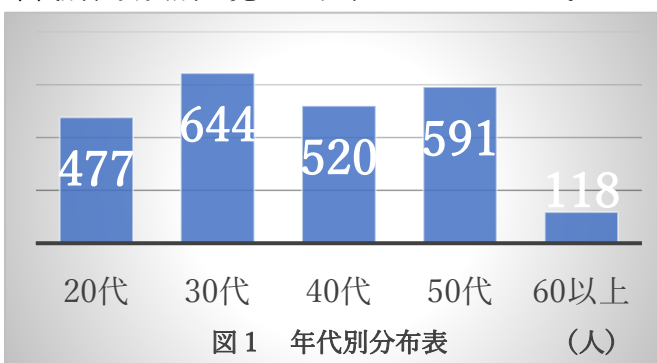
3 調査対象

山梨県内10支部、81校の教員を対象に、6月～7月にかけてアンケート調査を実施した。対象となる教員は、以下の通りである。

支部	甲府	中巨摩	笛吹	峡南	都留	峡北	東山	吉田	南都留	北都留
男性	158	169	62	57	40	76	60	42	44	43
女性	108	146	35	34	29	57	55	34	29	30
合計	266	315	97	91	69	133	115	76	73	73

全合計 2350人

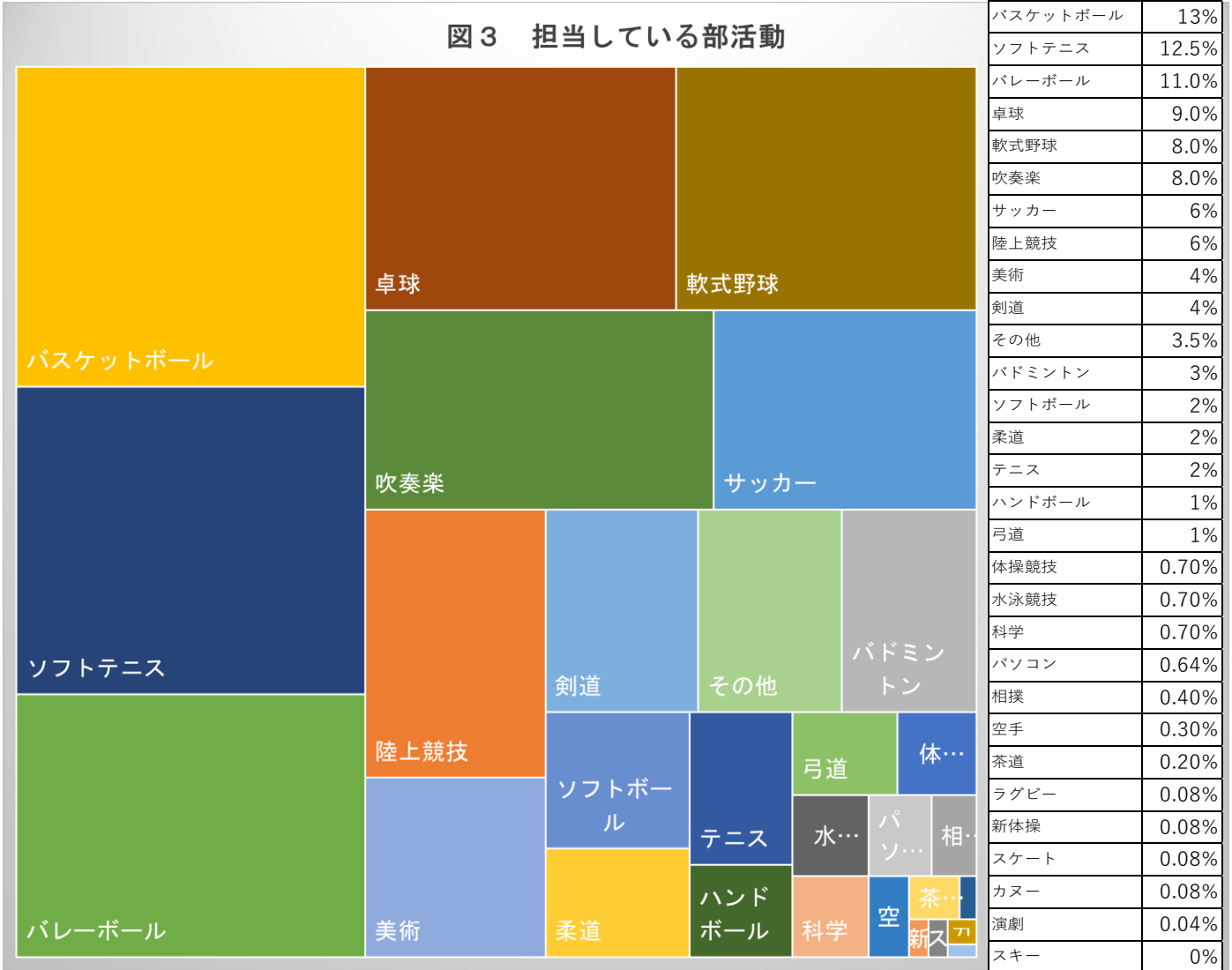
年代別、男女別で見ると以下のとおりである。



4 調査結果

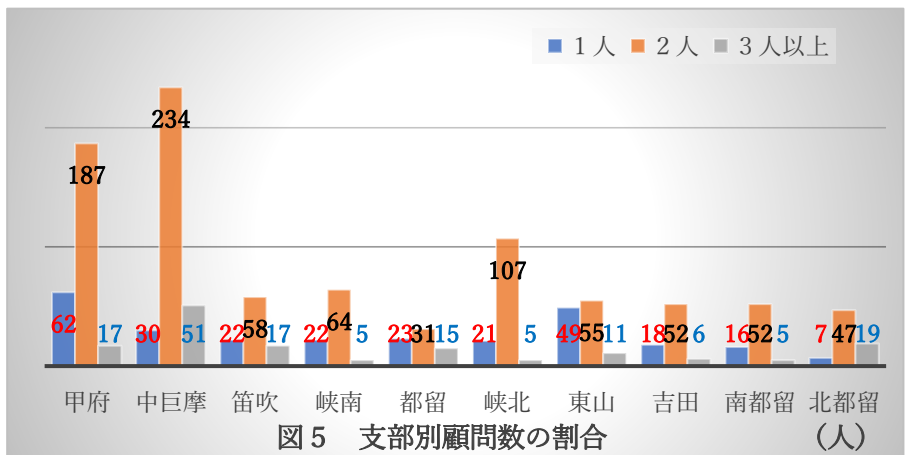
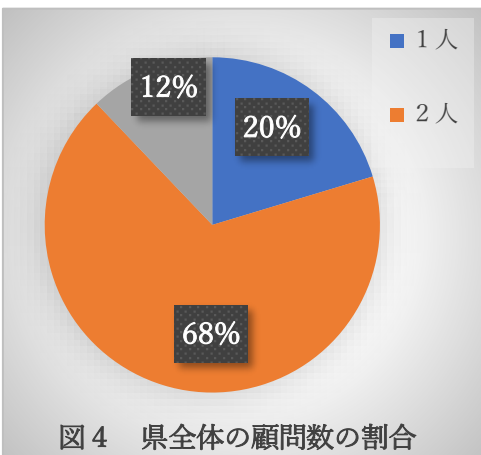
(1) 今年度、顧問として主な活動をしている部活動は何かについて

図3は、担当している部活動は何かについて、ツリーマップで視覚的に示したものである。全体の内訳は、バスケットボールが13%で最も高い割合を示し、その次にソフトテニスの12.5%、バレーボールの11%と続いて高い割合であった。その他には、家政部、文化芸術、なぎなた、アーチェリー、ホッケー、ボートなどがあつた。



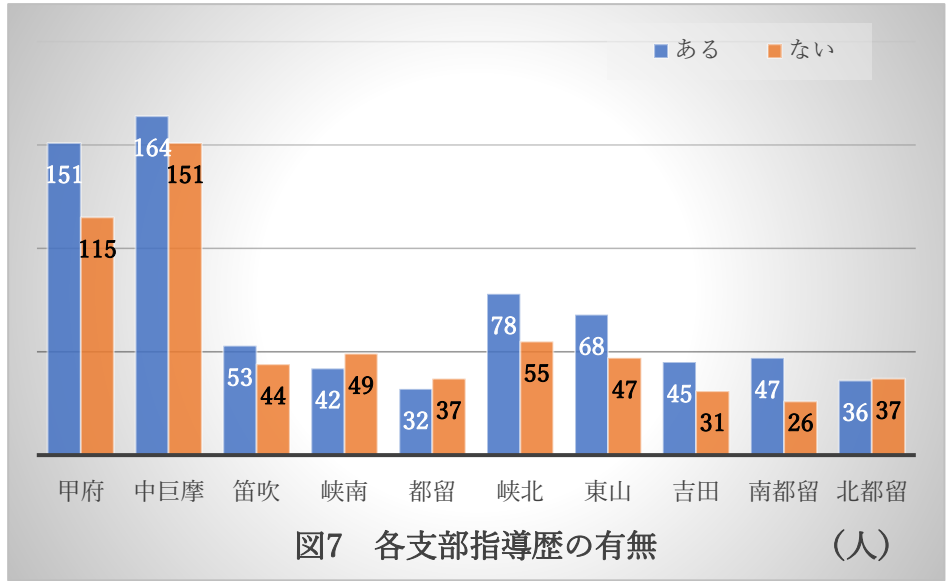
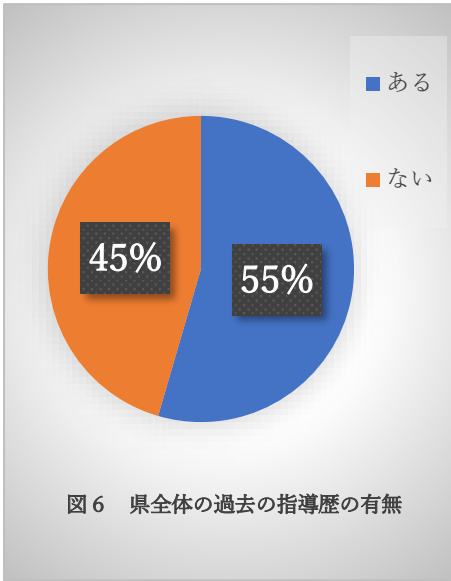
(2) 担当している部活動の顧問数は何人かについて

図4の顧問数については、すべての支部で、2人以上の顧問で部活動指導に当たっている人が多いという割合を示した。また、図5の支部別に見ると、峡北支部、中巨摩支部では、複数顧問の割合が他支部に比べて多いことが顕著であった。



(3) 顧問になっている部活動は、自分自身が指導歴のある分野かについて

図6の指導歴については、指導歴があると答えた人が、ないと答えた人より10%多い。図7の支部別に見ると、甲府、中巨摩、笛吹、峡北、東山、吉田、南都留と10支部中7支部が「ある」と答えた人が多かった。指導歴については、経験したことのある部を継続して担当している教員が多いことがいえる。



(4) 兼職兼業の許可申請の希望について

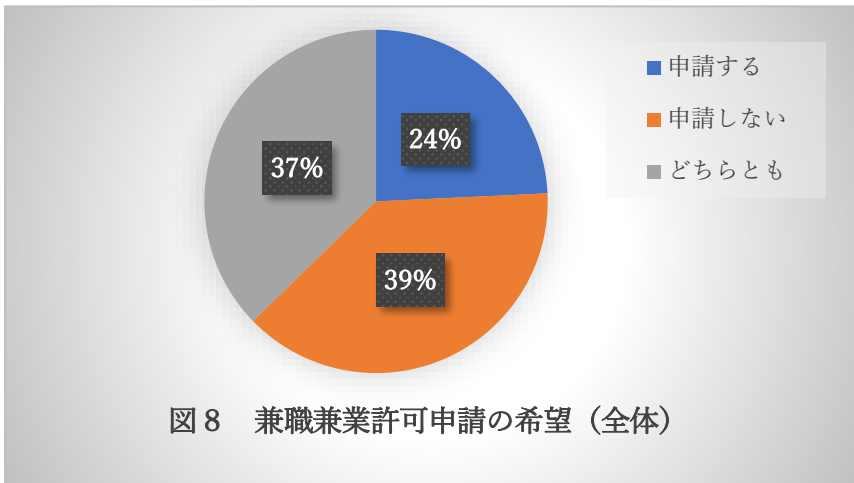
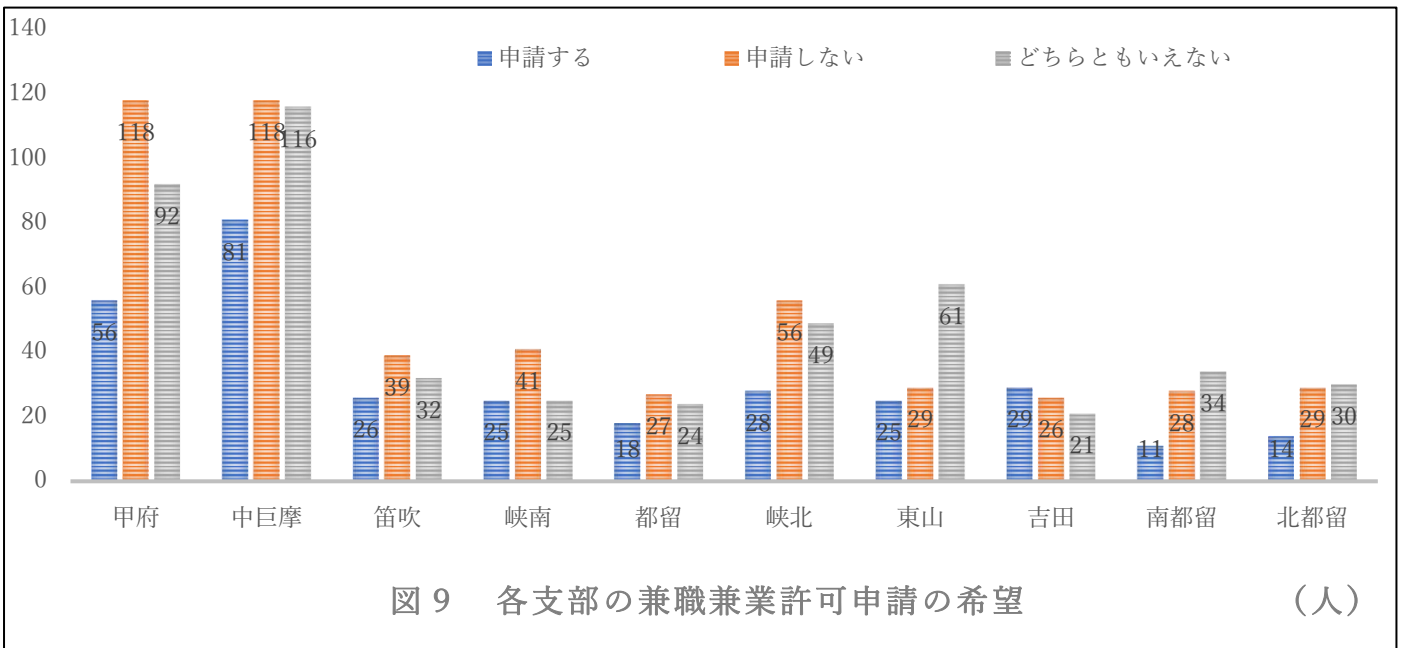


図8は、山梨県全体の教職員が、兼職兼業許可申請を希望するかの統計である。「申請する」と答えた人は、全体の24%、「申請しない」と答えた人は39%、「どちらとも言えない」と答えた人は37%だった。

図9の各支部の割合を見ると、「申請する」が他の2つを上回った支部は吉田支部のみで、「どちらとも言えない」が他の2つより上回っているのが、東山、南都留、北都留支部、その他6支部は、「申請しない」が一番多い割合となった。



(5) 「申請する」と答えた人の理由

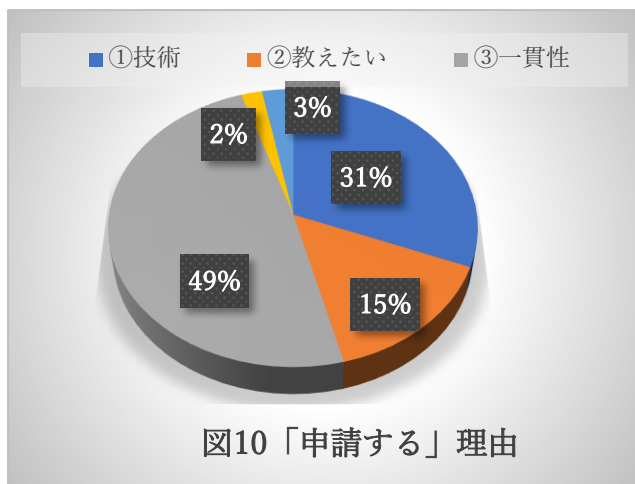


図10の「申請する」と答えた人の中で一番多かった理由は、③の部活動指導をした方が、生徒指導など学校内の指導との一貫性を図れるからが全体の49%と一番多く占めていることから、部活動の教育的効果を感じている教員が多いことがこのことから伺える。その次に、①の平日と休日部活動で技術指導に一貫性があった方がよいを選択している人が31%、②の自分が持っている専門的技術を子供たちに教えたいが15%を占めていることから、自分の持っている技術的な指導力を子供たちにも教えていきたいと思っている教員が約半数近くいると考えられる。

(6) 「申請しない」と答えた人の理由

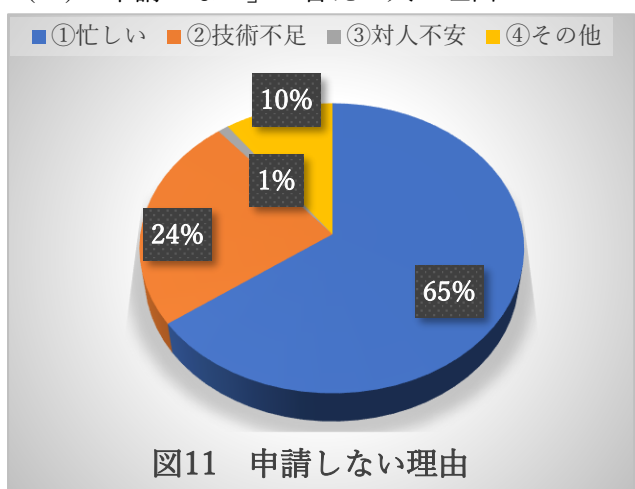


図11の「申請しない」と答えた人の中で65%が一番に挙げている理由は、①の多忙になるからである。部活動指導が教員の多忙化につながっていると感じている教員が多いことは、紛れもない事実であるといえる。残りの24%の人たちは、スキルの面で部活動指導に不安がある。1%の人たちは、保護者や生徒対応に不安があると答えた。その他の10%の人達の理由は、退職するため、退職しているためや家庭を優先させたい、技術指導できる専門的スキルを持っていない、土日に活動はしていない、休みたい、すでに地域指導者として活動しているなどの意見が多かった。

(7) 「どちらとも言えない」と答えた人の理由

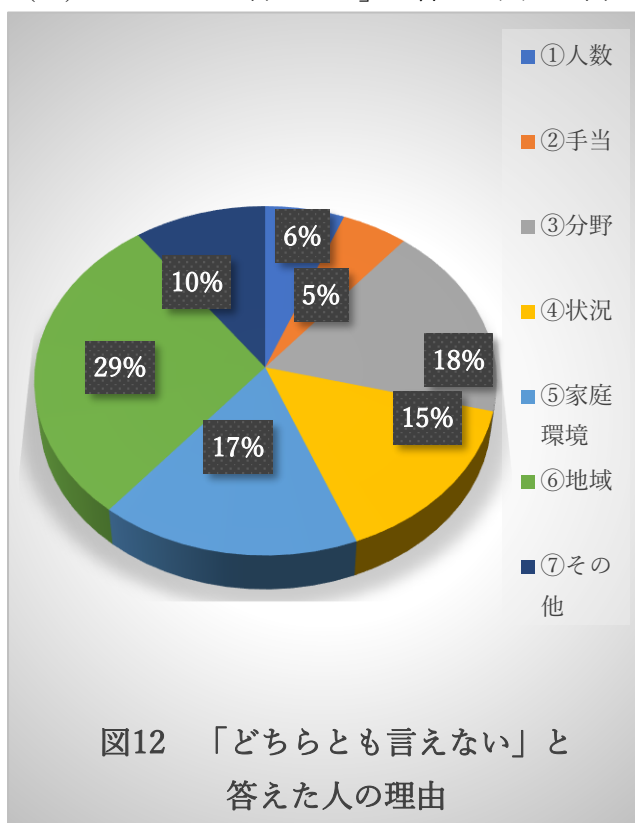


図12の「どちらとも言えない理由」として一番多いのは、⑥29%の地域活動指導者の仕組みや役割のことがよくわからないためと回答しており、この移行における趣旨やどのような方向性で部活動が変わっていくのかなど周知されていないことが浮き彫りとなった。今回のアンケート調査を行うにあたり、各支部の調査統計委員が説明をして初めて知った教員も多く、今後広く周知させていくことも課題である。次に、③の指導する分野によるが18%、⑤の自分の家庭環境によるが17%、④の学校の分掌などそのときの仕事の状況によるが15%の順に回答が多かった。⑦のその他の意見としては、平日と休日で一貫した指導ができるか地域との連携の問題を挙げている人が一番多く、生徒との関係作りや生徒指導にも繋がる部分があるという理由が次に多かった。逆に、①複数顧問体制、②指導時間やそれに対する手当と答えた人は、6%未満と少なく、「申請をするかしないか」は、地域指導者の仕組みを知った上で、専門性や自分を取り巻く環境で決めたいという人が約8割を占めているということがわかった。

(8) 休日部活動の地域移行に際して、期待できること

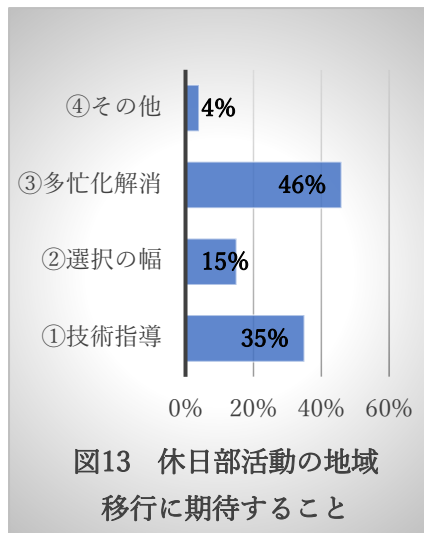


図13の休日部活動の地域移行に際して期待することでは、③の教員の多忙化解消が46%と高い割合を占めており、このアンケート項目からも部活動が多忙化につながっていると感じている教員が多いことが伺える。次に、①の子ども達が専門的な技術指導をしてもらえるが35%、②の近隣の学校と一緒に練習をすることによって、子ども達の選択の幅が広がるが15%の順に多い結果となった。その他の理由の中には、地域の大人と接することにより、子供達にマナー等がより身につく、地域の人と連携や交流が生まれる、改善について前向きな議論がなされるなど期待の声がある一方、地域に専門的指導者がいないのでこの取り組みに期待ができない、期待できることもあるだろうが、トラブルが発生した場合、逆に多忙化にならないか心配であるなど不安の声もあった。

(9) 休日部活動の移行に際して、課題だと思ふこと

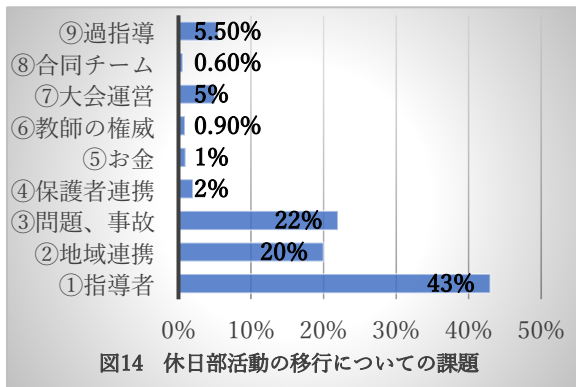


図14の休日部活動の地域移行に際して課題だと思ふことでは、①の指導者の確保が43%と一番高い割合を示し、次に③の安全面や問題、事故発生時の責任の所在が22%、②の学校と地域との連携の順に高い割合であった。この3つに関しては、(8)のその他の回答にもあったように、地域に指導者がいるか、問題が発生したときの対応などにこの取り組みの難しさを感じている教員が多いことが伺える。

5 今後の具体的な取組方向

今回の調査結果を受けて、令和5年からの休日部活動の地域移行に向けて方向性を見いだしていきたい。

まず、兼職兼業許可の申請希望を出すかについては、この移行に対する取り組みが周知されていない部分も大きい。申請すると答えた教員が24%と少なく、果たしてその他を地域活動指導者で補えるのかというところが一番大きな課題であると考えられる。これまでの調査統計の「部活動指導員に関する調査報告」「部活動指導員任用事業についての調査結果」にもあるように、外部指導者、部活動指導員の人数も少なく、競技によって偏りがある。また、この3年くらいのうちにも部活動指導員が大幅に増減している種目がある現状を踏まえ、教員を含めた実際の指導者数を把握し、この取り組みをどのように展開していくかを慎重に考える必要がある。

さらに、地域活動指導者の継続的指導の確保、学校との連携、部活動数の調整、合同チームの整備、各競技専門部の運営、規約の整備など持続可能なスポーツ・文化的活動にするためには、多くの課題の検討が必要である。

まずは、令和5年からの休日部活動の地域移行に向けての取り組みを全体に周知させることが重要であると感じた。具体的な情報を提供し、知ってもらった上で兼職兼業許可申請の希望を再度とることが、指導者数の実態を正確に知ることにつながり、更には、教員のニーズや課題点、意向もより明確になると考える。また、教員だけでなく地域の指導者を確保するために地域活動指導者に関するリーフレットや手引きを配布し、広くアナウンスすることで、地域活動指導者の人数や実態把握につなげることも大切だと感じた。

今後は、モデル校の結果や今回の調査結果を受けながら、他県の動向も参考にしつつ、山梨県教育庁保健体育課、山梨県小中学校体育連盟が連携して部活動改革に関わる様々な課題を検討し、明確にしていくことが重要である。また、子ども達にもアンケートを実施し、生徒達のニーズを把握した上で、生徒達にとってよりよいスポーツ活動、文化的活動の整備のために引き続き今後も調査を進め、よりよい改革の方向性を探っていきたい。

〔文責： 調査統計部委員長 杉原 彩子 (甲府市立城南中学校)〕